

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和6年 3月 22日

公表:令和6年 3月 31日

事業所名 児童発達支援事業所くくる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数や活動によって部屋を変えており、安全に活動できるように設定しています。	
	2 職員の配置数は適切である	○		利用人数に応じて、若干多めに職員の配置を行っています。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がい者の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用児にわかりやすいように工夫して、ホワイトボードに絵カードや文字で、スケジュールを提示している。また、利用児が安全に安心して過ごせるように環境設定を行っています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		クラス間毎に、掃除・消毒を行っています。また、玩具の消毒も支援終了後に毎日行っています。	クッションマットのずれが無いよう固定したり、その都度直したりして、より安全に過ごせるように努めます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間でのカンファレンスを実施すると共に、共通認識になるよう書面に残し回覧しています。	朝礼、終礼以外での職員会議の時間の確保が、課題であると考えています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者向けアンケートを実施し、療育の改善につなげています。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業所向けアンケートを実施した後、意見を集約するための会議を実施しています。その会議を踏まえ、ホームページ上に公表しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		感染対策の観点から外部評価を実施していませんが、今後実施したいと考えています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		職員への研修を定期的に行っています。研修内容を職員間で共有しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		送迎時や事業所内相談で保護者のニーズを伺い、原案の作成後モニタリングを実施して支援計画を作成しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		利用児の姿から、子どもに合わせて必要な支援内容を考え、具体的な支援内容を計画に記載するように努めています。	5領域の周知を職員に図り、来年度から計画に反映させます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		月に一回個人記録会議を行い、支援計画に沿った支援が行えるようにしています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		訓練士、保育士と相談し、多角的な視点で活動プログラムを考案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月スタッフで活動予定を話し合い、活動プログラムが固定化しないようにしています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個別にOT,STを実施している。個別集団のバランスを取り、個別支援計画に該当する項目を記載しています。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援後にその日あったことや共有事項をスタッフからフィードバックを得て日誌や記録に残し、職員全員が把握できるように努めています。		

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		モニタリングで見直しの必要があれば、その都度修正しています。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者、もしくは児童発達管理責任者が会議に出席しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		該当するお子様は、通所していません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		該当するお子様は、通所していません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		関係機関連携会議や園長会に参加し、地域との連携を図っています。	送迎時に情報共有は行っていますが、移行支援としては充分でないと感じています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		児童館や公園での活動を通し、交流する機会を得ています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援後には必ず保護者とやり取りを行い、共通理解に努めています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		グループワークを実施し、言語聴覚士や作業療法士が入り、支援を行っています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず詳細をお伝えしております。保護者様から質問がある場合には、その都度対応を行っております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		5領域の項目を考慮して計画を練り、モニタリングを経て、出来た計画を保護者の方に説明し、同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		母子通所のクラスでは、今年度交流会を実施いたしました。	コロナ禍により自粛しておりましたが、今後実施を検討する予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		職員間で連携し、相談できる体制を整えています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月1回以上は、お便りを発行しています。	

	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		声掛けの仕方や説明の仕方など、利用児にとって伝わりやすい手立て工夫し、利用児との意思疎通に努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナ禍の影響があり実施できていませんでしたが、今後検討したいと考えております。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		担当の職員が企画し、適切な時期に訓練を行っています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		担当の職員指導の下、訓練を行っています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に必要な情報を聞き取り、職員間で共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	アレルギーのあるお子様の利用がありません。	今後対象のお子様を利用の場合には、対応の検討を行います。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		担当職員が年に1回は必ず全職員に研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束が必要な利用児がいないため、個別支援計画に記載を行っていません。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。